

# なかよう便り



<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/nakatane-h/top.html>

令和3年12月24日 発行



## 教頭 眞下 千代子 「アップデート」

令和3年も残りわずかとなりました。今年も学校行事への御協力をありがとうございました。

さて、学習指導要領という言葉が聞かれたことがあると思いますが、教育の根幹である学習指導要領は、社会の変化に対応し生き抜くために必要な資質・能力を育むため、約10年ごとに改訂がなされます。小学校では令和2年度、中学校では令和3年度から全面实施、高等学校では来年度の入学生から年次進行で実施されることとなります。新しい学習指導要領では、「主体的な深い学び」をキーワードに子供たちが社会に出てからも学んだことを生かせるような力を学校教育で育むことを目指します。本校でも、子供たちの主体的な学びを深めるために「一人一授業」として全職員が研究授業を行っています。私も研究授業を参観していますが、子供たちは今年度配布したばかりのタブレットの操作法をあっという間に覚え、目を輝かせながらネットで調べたり、友達と意見交換などをしたりして意欲的に学習に取り組んでいます。「進化」している子供たちに負けないように、私たち教員も世の中に対応しつつ指導法や授業改善を日々研究し、頭の中をアップデートし続けなくては！と思う今日この頃です。

## 【高等部屋久島支援教室（希望のぞみ教室）】

12月8日（水）に授業参観・学級PTAを実施しました。授業参観では、作業学習で制作した製品の展示・販売を行い、学級の保護者や屋久島高校の先生方にたくさんの製品を購入していただきました。これまでの経験を生かし、接客の態度や姿勢、お金のやり取りや計算など生徒たちが主体となり、みんなで協力しながら、生き生きとした表情で販売活動を行いました。活動を通して励みや自信となったことでしょう。来年度は、屋久島高校の文化祭でも展示・販売ができることを願って、より一層、作業学習を頑張っていきます。



## 【小学部】 「宿泊学習を終えて」

10月6日（水）～7日（木）に4年生～6年生までの11人で宿泊学習を実施しました。事前学習ではタブレット端末で調理の材料を選択したり、買う物をタブレット端末にメモしたりするなど、ICT機器を活用した学習も効果的でした。また、宿泊レンジャーの登場するビデオを使ったことで、子供たちの意欲や期待感を高めることができました。実際の宿泊学習では、分担した調理の作業や係の仕事に加えて、布団敷きや施設の掃除を進んで行うなど子供たちの自主性に驚かされることも。コロナ禍ではありましたが、サンビレッジの施設の皆様、保護者の皆様のご協力により子供たちが自信を付ける経験、学習をすることができました。



## 【中学部】 「プールにありがとう」

本校では、校舎の大規模改築工事が始まっています。夏に児童生徒の笑い声が響き渡るプールも改築のために取り壊すことになりました。そこで、何かこれまでの感謝を表す方法はないか考え、思いついたのが大きな壁をキャンパスに見立てた壁画の制作です。美術科の職員が下書きした「ありがとう」の文字に着色したり、児童生徒が思い思いに絵を描いたりしました。中学部生も大きな壁面に描くことが楽しくて、暑い中でしたが、みんな夢中で筆を動かしました。これまでの感謝を形にすることができ、良い記念となりました。本当に今までありがとう。



## 【高等部】 「ALTとの交流」

12月2日（木）にカナダ出身のテッサ先生と外国語の学習をしました。お互いに自己紹介をした後、クイズを通してクリスマスの伝統文化について学びました。テッサ先生から「日本の冬の伝統は何ですか？」の質問に、「鏡餅」「お年玉」「節分」と答える等、興味をもって、主体的に活動することができました。後半の「英文カルタ」では、テッサ先生が読む英文をよく聞いて、生徒同士競い合いながら絵カードを取り、とても盛り上がりました。外国の文化や英語に触れる良い機会となりました。



## 【進路指導部】

令和3年度夏季校内進路研修会では、「NPO法人こすも」の相談支援専門員と「くまげ障害者就業・生活支援センター」のセンター長を講師としてお招きしました。「福祉サービスを利用している卒業生、企業に就労している卒業生の現状と課題」について詳しく教えていただきました。卒業生の充実した社会生活の様子を伺い安心すると同時に、職場でのトラブルや様々な生活課題があることも具体的に知ることができました。今後の児童生徒の指導・支援の参考になりました。



## 【学習発表会】

11月27日（土）に第46回学習発表会を開催しました。感染症対策のため、来場者は保護者と一部の来賓のみと例年に比べると少数でしたが、観客の前で発表できたこと、一つ一つの演技に大きな拍手や励まし、賞賛の言葉をいただけたことは、児童生徒、職員一同にとって大きな喜びでした。保護者の皆様や関係機関の方々のご協力に感謝いたします。



## 【令和3年度 南日本硬筆展】

- 【優秀賞】 秋山 春輝さん（高3）
- 【推薦】 久永 りこ（小6） 岡崎 滯菜（中2）
- 倉橋 正至（高3） 鎌田 美聖（高3）
- 【金賞】 西川 碧咲（小4） 岡崎 わかな（小5）
- 鎌田 宗哉（中2） 松山 亜衣（中2）
- 岡崎 樹（高1） 鹿島 悠（高1）
- 羽嶋 遊撃主（高1） 富永 優（高2）
- 西川 遥毅（高2） 上妻 龍生（高3）
- 平田 拓巳（高3） 岩川 紫音（高2）
- 渡辺 達己（高2） 清岡 真義（高3）
- 【銀賞】 小学部1人 中学部1人 高等部6人 受賞

## 【第1回 鹿児島県特別支援学校作品展】

- （造形美術部門）
- 【最優秀賞】 鹿島 悠（高1）
- 【優秀賞】 羽嶋 遊撃主（高1） 川原 陽人（中3）
- 松山 結衣（中2）
- （立体部門）
- 【優秀賞】 松山 結衣（中2）



## 【第72回 鹿児島県高校美術展 立体造形部門】

- 【秀作賞】 永井 雄大（高3）

